

桜流鎬馬2006 開催要項

■ 開催概要

- 名称 桜流鎬馬(さくらやぶさめ)2006
- 会期 平成18年4月29日(土)～30日(日)
- 会場 十和田市中央公園緑地
- 主催 桜流鎬馬実行委員会

■ 実施種目

- ①流鎬馬競技 個人戦
- ②流鎬馬競技 団体戦(3人1組)
- ③木馬速射競技 個人戦

■ 参加資格

有資格者の指導を受け、流鎬馬競技連盟加入団体の推薦がある女性。
騎乗保険等に参加し、事故に際して自己保障できる方。

※希望者は期間中の障害保険(損保ジャパン)加入可。¥1,350から

■ エントリー

同封の「参加申込書(個人用)」をもってエントリーを受け付けます。
サポーターや視察見学者など競技をしない方も「参加申込書(個人用)」を提出してください。
さらに各団体からは「参加申込書(団体用)」も提出してください。

※団体戦のメンバー割はこの書類によって処理します。

エントリー料や(貸与馬希望者の)借馬料については、本要項の「諸費用」をご覧ください。
エントリー受付の締め切りは **4月8日(土)** です。

※同日までに申込用紙を送付し、諸費用をお振り込み願います。

■ 自馬参加の場合

自馬参加選手の馬匹に対しては、以下の待遇を確保します。

・馬房とその敷料 ・乾草 ・エサ桶と水桶

乾草以外の、普段から馬に与えている飼料は、各自でご用意ください。

馬房掃除その他の厩務は各自で行ってください。

■ 借馬の場合

借馬希望者への配馬は、選手の技能や馬の使用頻度を考慮して、主催者側で決定いたします。

競技の順番は、馬のインターバルを考慮して、主催者側で決定します。

競技は組(5～6人)ごとに行われ、各組の競技前には素馳せ＝1往復を行います。

■ 送迎サービス

十和田市駅から会場またはホテルまでは、送迎車をご用意できます。
ただしスタッフの数や車の定員に限りがありますので、希望者はお早めにお申し付けください。

帰路、会場から十和田市駅までの送迎は、競技終了後でなければできません。
途中でお帰りになる方は、恐れ入りますがタクシーをご利用願います。

■ 着 付 け

29、30の両日にわたって和服の着付けを心得たスタッフを更衣室に配置します。
自分で着られる方は更衣室または選手控えテントにて着替えてください。

■ 食 事

食事は以下の通りで、それぞれの費用については4ページにて後述します。

15日(土)の昼食	会場にて弁当支給
15日(土)の夕食	懇親会にて
16日(日)の朝食	ホテルにて
16日(日)の昼食	会場にて弁当支給

その他にも、会場にはさまざまな飲食品が出店されています。
上記以外の食事は各自で適宜お取りください。

■ 宿 泊

ホテルへの予約は十和田乗馬倶楽部で行います(個人で申し込むと高くなってしまいます)。

和幸ホテル	十和田市4番町4-6	☎(0176)25-1211
お一人様 1泊 5,500円(翌日の朝食付き)		

ホテルの清算はチェックアウト時に各自で行なってください。

■ 懇 親 会

4月29日(土)の夕方から、和幸ホテルで懇親会を開きます。
参加費はお一人様4,000円です。
せっかくの機会ですから、ぜひ参加して、流鎬馬愛好者どうし親睦を深めていただければ幸いです。

■ 諸 費 用

▽あらかじめ(4月8日までに)お振り込みいただく費用

	選手(自馬参加)	選手(借馬参加)	サポーターその他
エントリー料	5,000円	5,000円	不 要
借 馬 料	不 要	10,000円	不 要

各団体でまとめて送金しても構いません。

▽当日、現場でいただく費用

	選手(自馬参加)	選手(借馬参加)	サポーターその他
傷 害 保 険 料	希望者は 1,350円から		不 要
宿 泊 料	1泊2日=5,500円	2泊3日=11,000円	3泊4日16,500円
懇親会参加料	4,000円	4,000円	4,000円
昼食の弁当代	不 要	不 要	1,000円(2日)

保険料は、加入者のご職業によって若干異なります。保険屋さんが来て、保障内容の説明と加入手続きを行います。印鑑は特に必要ないそうです。

【振込先】

みちのく銀行穂並支店 [普通] №3508668 (有)東奥商事 十和田乗馬倶楽部 代表 中野渡利彦

■ 参 加 申 込

参加申し込みの締め切りは4月8日(土)必着とさせていただきます。

「参加申込書」を郵送またはFAXでお送りください。

お申し込み、お問い合わせ、荷物の事前送り先は…

十和田乗馬倶楽部

〒034-0001 青森県十和田市大字三本木字佐井幅115-5

T E L (0176)26-2945 ※火曜定休

F A X (0176)26-2946

MAIL thrc@jtng.com

担 当 豊川 滋、日野口 真理子



流鏑馬選手権 競技規定

1. 競 技 馬 競技に用いる馬は和種または和種系とする。具体的には体高147cm以下で、和種の特徴が認められる健康な馬とする。
2. 馬 装 鞍は和鞍を用いることが好ましいが、その他の鞍でも構わない。ただし和式の手綱、三懸（面懸・胸懸・尻懸）は着用のこと。
3. 騎手の服装 頭 部 … 安全帽または綾藺笠（あやいがさ）を着用する。
胴 部 … 伝統装束（狩衣・直垂）または弓道衣に射籠手とする。
足 部 … 足袋は黒色、紺色、または茶色とする。
4. 弓 具 弓は和弓とする。
矢筈は騎射用に改良したものをを用いて構わない。
矢尻は楕円状の木製神頭矢とする。 ※貸与可
鞭は竹根のもので、乳下から足首までの長さのものを右手に下げるが、初心者は用いなくても用いずとも認める。
5. 競 技 場 鉄砲馬場（競技場）の走路は助走路を含め全長200mとする。
鉄砲馬場の両端には高さ60cmのロープを張り、馬の進行方向を促す。
さらに鉄砲馬場と観客席との間にも高さ1mのロープを貼り、観衆の接近を防ぐ。
6. 的 的は1辺45cmの正方形をした発泡スチロールで、これを菱形状に杭に取り付ける。
的に同心円は無い。
地面からの的中心点までの高さは1.5～1.8m とする。
的に50m間隔で3箇所設置し、全て鉄砲馬場と平行にする。
鉄砲馬場からの的までの距離は5mとする。
7. 時 間 制 限 [1の的]から[3の的]までの100mにて所要時間を測定する。
測定時間が14秒を越えた場合は失格とする。
8. 得 点 方 式 的への的の中か否かを競う。
的中数の多いほうが上位。
的中数が同数の場合は、タイムの速いほうが上位。
落馬、放馬は無得点とする。
9. 順位の決定 初日の予選における上位者（10名を予定）が2日目の決勝へ進む。
決勝は1人2走し、的中数とタイムの合計によって順位を決定する。
決勝進出を逃した者は、2日目の順位決定戦へ進む。
順位決定戦は1人1走し、順位を決定する。
予選の結果は、決勝および順位決定戦に反映されない。

木馬速射 競技規定

1. 木馬と鞍 騎射の稽古に用いる同形の木馬3体を用い、各々に和鞍および和鐙を取り付ける。
2. 的 木馬より10m先に、1辺30cmの正方形の的を、地上から1.5mの位置に設置する。
3. 騎手の服装 流鏑馬と同様の服装を用いる。
4. 弓 具 流鏑馬と同様の弓矢を用いる。
矢は3本、もしくはそれ以上用意すること(実際に行うのは3射)。
5. 競技の終始 行司の誘導により木馬に騎乗し、「よーい」の号令と共に弓を構える。
このとき矢はつがえない。
太鼓が鳴ったら騎射開始。3本目を射終わったら競技終了。
6. 勝敗の決定 的中数の多い者が勝ち。
的中数が同数の場合は、タイムの速いほうが勝ち。
7. 優勝決定戦 初日の勝者、2日目の勝者、及び「両日の決勝で敗退した者の中で、決勝の成績が最も良かった者1名」、の計3名により優勝決定戦を行う。
初日と2日目の勝者が同じ場合は、優勝決定戦を行わず、その者を優勝者とする。
8. 組 割 3人1組のトーナメント方式で行う。
両日とも予選の組と木馬はクジ引きで決める。
その後は、予選成績の良かった者から順に、希望の木馬を選ぶことができる。

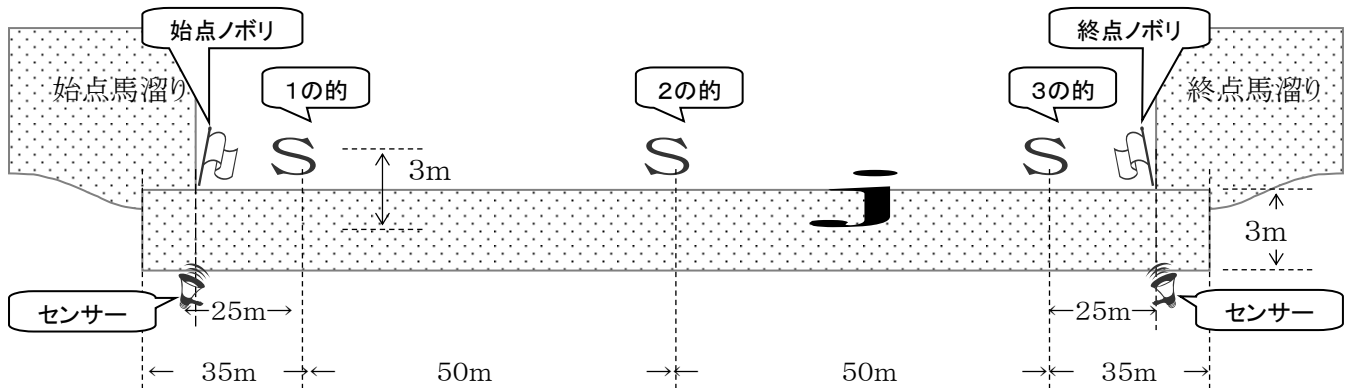
ただし、参加人数の関係でトーナメント表にシード枠ができる場合は、初日の上位者を順次2日目のシード枠にはめ込むこととする。
9. 禁 則 フライング(太鼓が鳴る前に騎射を開始すること)を2回犯した者は失格とする。
1つの組でフライングが3回あった場合は、3回目に犯した者を失格とする。
競技中に弓を落としたり、木馬から落ちた者は失格とする。

以上に言及されない事柄については須らく全日本流鏑馬競技連盟と審判長の協議により判断する。

やぶさめのルール

【馬場】

- 鉄砲馬場(走路)は全長約170m、幅3mで、深さ8cmの砂が敷かれてあります。
- 馬場の両脇には高さ1mのラチが設置してあります。
- ラチと観客席との距離は1.5mあり、観客席には高さ1.2mの柵が設置してあります。



- “1の的”の25m手前が**始点**、“3の的”の25m後方が**終点**で、それぞれ目印にノボリを立てています。
- 始点と終点に設置したセンサーが所要タイムを測定します。
- 始点の手前と終点の先には“馬溜り(うまだまり)”が設けてあります。

◎“馬溜り”はあなたのアシスタント

“馬溜り”には5～6名のスタッフを配置しますので、馬を抑えたり、弓を手渡して欲しいといった用事があれば何なりと頼んでください。

【的と矢】

- 的は馬場の中央線から3m離し、各々50m間隔で計3個設定します。
※ただし馬場の両脇に桜並木があるため、的と樹木が重ならぬよう、的の位置を多少ずらす場合もあります。
- 的の高さは地面からの的中心までで1.5mです。
- 的は1辺が45cmの正方形で、ひし形状に設置します。的の中心には直径10cmの黒点を描きます。
- 的の材質は発砲スチロールで、的中すると割れるようになっています。
- 矢は“神頭矢”を使用してください。

【出走順位】

- 騎手を8組に分け、1組を6名で構成します。
- 出走順位は、騎手の乗り替わりや馬のインターバルを考慮して、主催者側で決めさせていただきます。
- 出走表は当日朝のミーティングにて最終決定版を配布します。

【素馳せ】

- 本走の前に“素馳せ(すばせ)”を行います。“素馳せ”はどんどん続いて行ってください。
- “素馳せ”時に弓を持っても構いませんが、矢は射たないでください。
- 1組6頭が終点の馬溜りにそろったら、出走と同じ順番で引き返してください。
- “返し馬”は基本的に常歩です。

やぶさめのルール

【本走(騎射)】

- “本走”は始点の合図係の指示に従って出走してください。
- 最初の矢は、あらかじめ弓につがえておいても構いません。
- 予選(初日)と決勝(2日目午後)は1人2走、順位決定戦(2日目午前)は1人1走します。
- 落馬と放馬は失格です。落ちないように頑張ってください！
- “返し馬”は常歩で、出走と同じ順番で引き返してください。
- 放った矢は、“返し馬”のときに各的の係員が手渡します。

◎ショーアップ大歓迎！――

卓球の愛ちゃんのように、自分に気合いを入れるために、かけ声を発してもぜんぜん構いません。“返し馬”の際は、観衆に手を振ったり、カメラにニッコリ微笑んでもOKです。

【成績と順位決定】

- 的に同心円は無く、的中か否かで競います。
- 矢が的中にかすただけでも、とりあえず「的中」とみなします。
- 順位は、的中数の多いほうが上位。同数の場合はタイムの短いほうが上位となります。
- 1人2走する予選と決勝では、2走の的中数とタイムをそれぞれ合計します。

◎ラストで気を抜かないように――

3の的を過ぎてから終点まで、まだ25m残っていることをお忘れなく。余裕があれば騎射後も少し馬を追ったほうが有利です。もちろん安全第一！リスクを犯す必要はありません。

【初日と2日目の次第】

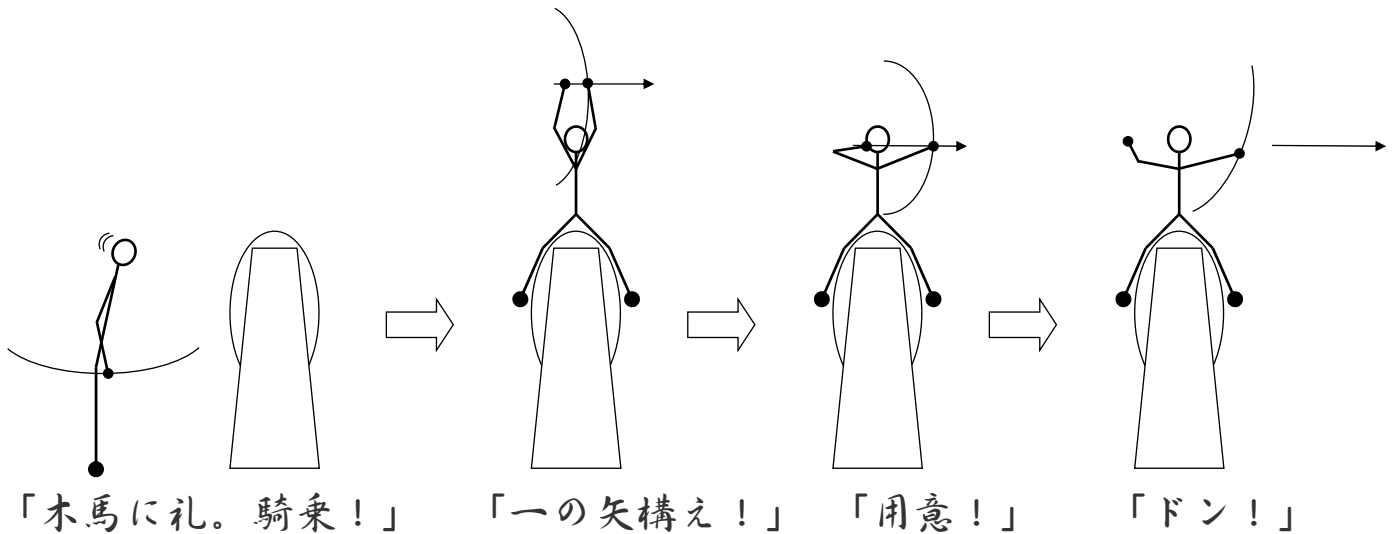
- 予選の上位(*)名が、決勝(翌日の午後)へと進みます。予選と決勝は1人2走します。
- 予選の(*)位以下は、順位決定戦(翌日の午前)へと進みます。順位決定戦は1人1走です。
- 予選や決勝の成績は2走の合計で競います。すなわち…
 - ①[1走目の的中数]+[2走目の的中数]の多いほうが上位
 - ②的中が同数の場合は、[1走目のタイム]+[2走目のタイム]の少ないほうが上位
- 決勝・順位決定戦とも、予選の成績は考慮されません。

* 決勝へ進める順位は、参加人数が確定してから決定し、競技開始より前に各選手へ連絡します。

木馬速射のルール

【号令と所作について】

- ①名前を呼ばれた人は木馬の前に進み出てください。
- ②行 司 の「き じ ょ う！」の号令で木馬に一礼し、またがります。
- ③行 司 の「いちのやかまえ！」の号令で矢をつがえ、弓を引き上げます。
- ④行 司 の「よ ー い！」の号令で腕を下ろしつつ弓を引き絞ります。
- ⑤審判長の「ド ー ン！」の太鼓で矢を放ちます。
 - 審判長は全射手が弓を引き絞った状態で静止しているのを確認してから太鼓を打ちます。
 - このとき、フライングがあれば副審が競技を止め、やり直しになります。
 - 以後、副審は的中数を見定めます。
- ⑥2～3射目は号令をかけないので、どんどん射ってください。
- ⑦時計係は太鼓の音と同時にストップウォッチを作動させ、3射目が射手の手を放れた瞬間に停止させます。



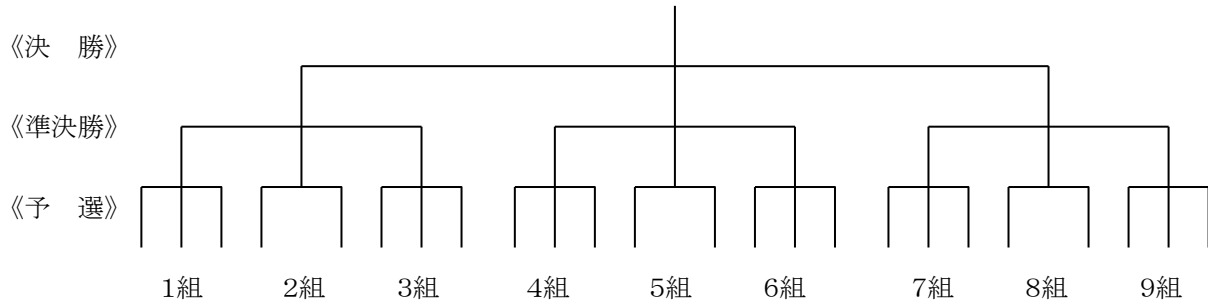
三上様

すいません。青森乗馬倶楽部でうまくFAX受信できないようなのでコモンに送りました。
行司のセリフはこんなものです。物足りなかったらおやじギャグ入れてもらっても構いません。
よろしくお願いします。

豊川

【試技と勝敗について】

- 試技は下のようなトーナメント方式によって行います。
- 予選組と、各々が乗る木馬は、クジ引きによって決定します。
- 準決勝及び決勝の木馬は、予選の成績が良かった人から順番に選ぶことができます。



- 1組3名で試技を行います。ただし2、5、8組は、参加人数の都合上、2名で行います。
- 最も中数の多かった人が勝ち残り。的中が同数の場合は、最もタイムの速かった人が勝ち残ります。
- 勝ち残った射手は、行司の前に進み出て「勝ち名乗り」を受けてください。
- 2日目のトーナメント終了後、初日の2位と2日目の2位で「3位決定戦」を行います。
- 最後に、初日の1位と2日目の1位で「優勝決定戦」を行います。
- 1～3位には賞状と賞品が贈呈されます。

その他の特記事項

【馬のケア】

- 基本的に、自分の乗る馬は自分でケアしてください。すなわち馬装、三懸の着脱、蹄叉や肢熱の確認等を自分でやってください。
- “待機馬場”のスタッフが、上記ケアをお手伝いします。三懸の付け方が判らないとか、時間がなくてやってられない場合は、遠慮なく協力を仰いでください。
- 給餌・給水は待機馬場のスタッフが行います。
- 休憩後の馬は、たとえ馬装がしてあっても、腹帯を緩めている場合があります。騎乗前は必ず腹帯の締め具合を確認してください。
- “試走”では最初から馬を追わず、まず周囲の様子をじっくり観察させる必要があります。
- ※各的の後方に張った幕は、風にあおられて揺らぎがちですから、特に念入りに見せてやってください。
- “試走”で馬を追う場合は、まず軽速歩から始め、徐々に馬の心拍数を上げていくようにしてください。

【控え TENT とプレハブ小屋】

- 着替えは、相撲場に設置した「選手用TENT」をご利用ください。
- 和装の着付けもTENT内で行って構いません。同じ相撲場内にあるプレハブ小屋には“着付け係”を待機してありますので、自分でうまくできない人は遠慮なく着付け係に頼んでください。
- ただし着付け係が待機しているのは午前8～10時です。
- 持ち物は各自で十分注意してください。TENTは無人になる場合もあるので、特に注意すべきです。貴重品は本部TENTにてお預かりします。

【服装と防寒対策】

- 流鏑馬と木馬速射は、基本的に和装をお願いします。
- “試走”の際はジャンパー等をおっても構いません。
- 初日の木馬速射は、夕刻から、かがり火をたいて行います。多少冷え込んでくることが予想されるので、待機中は何かをおおっていたほうがいいかもしれません。

【緊急時の対応】

- 要所、要所にいる主だったスタッフはトランシーバーを携行しています。緊急の連絡事があれば、最寄りのスタッフに言えば、直ちに担当者へ連絡が行きます。
- 本部と選手用テント(スタッフ用)には救急箱が用意してあります。
- 昆祐子さん(兼選手)と芋田康子さんの2名に救急スタッフをお願いしています。2人とも元看護婦さんです。昆さんは選手用テント～待機馬場付近、芋田さんは本部～園遊会付近にいます。

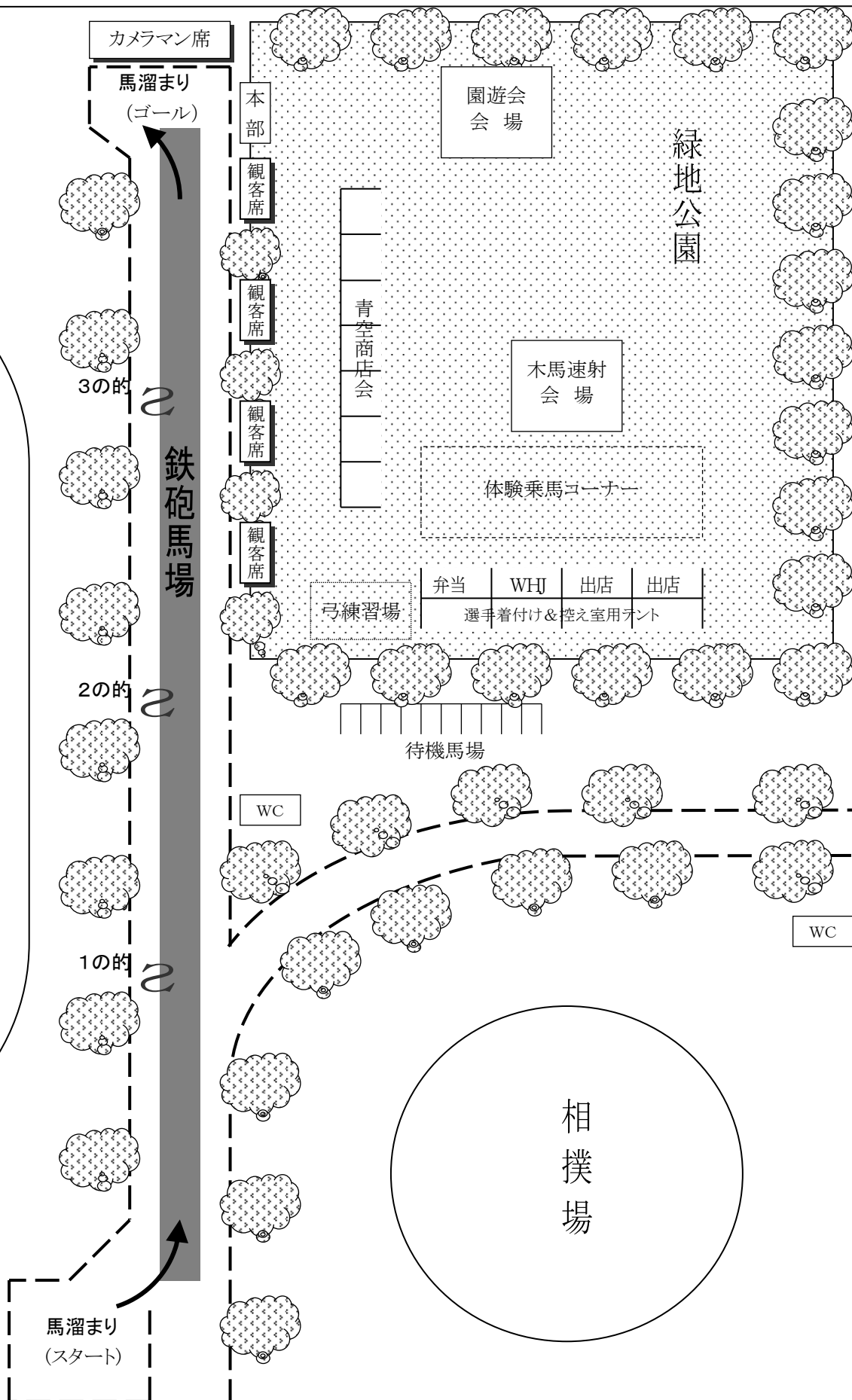


■会場図

WC

中央公民館

陸上競技場



相撲場に駐車できるのは2日目(4/30)のみ。ただし通行許可証が必要です。